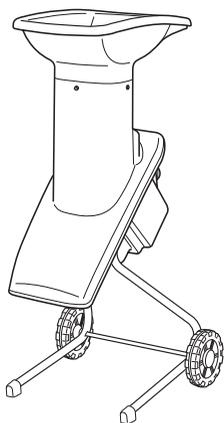
Hitachi Koki

取扱説明書 保証書付

形　名

FRS 30

日立ガーデンシュレッダ

このたびは日立ガーデンシュレッダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

用　途

● 小枝の粉砕

軟らかい生木の小枝

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠警告

① 作業場は、 いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠警告

⑥ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口に依頼してください。
- 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⚠警告

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。
- 屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口に依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口に依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作ができなくなった電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

ガーデンシュレッダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ガーデンシュレッダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
- 表示を超える電圧で使用すると、運転速度が異常に高速となり、けがの原因になります。

② **必ずアース（接地）してください。**
- 感電の恐れがあります。

③ **雨中や湿気の多い所で使用したり放置しないでください。**
- 感電の恐れがあります。

④ **刃物の交換は取扱説明書に従って正しく行ってください。**
- 誤った取付け方をしますと、本体から刃物が外れ、けがの原因になります。

⑤ **不安定な姿勢で使用しないでください。**
- けがの原因になります。

⑥ **本体（刃物カバー）がない場合や確実に閉められない場合は使用しないでください。**
- けがの原因になります。

⑦ **使用中は投入口を直接のぞかないでください。**
- 切りくずなどが飛び出し、けがをする恐れがあります。

⑧ **刃物が回転しているとき、および電源プラグがコンセントにさし込んであるときは決して刃物に触れないでください。**
- けがの原因になります。

⑨ **刃物は電源OFF後4～5秒間回転します。**

⑩ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店、または、日立工機㈱の修理窓口に依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑪ **誤って転倒させたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**

⑫ **本機を使用するときは、周囲に人を近づけないでください。**
- 切くずが周囲に飛び出したとき、けがをする恐れがあります。

⑬ **投入皿を取りはずして使用しないでください。**
- けがの原因になります。

⑭ **雨や夜露、散水などにより濡れた枝を粉砕しないでください。**
- 感電の恐れがあります。

⑮ **枯れ枝は粉砕しないでください。**
- 粉砕時に枝が折れ飛散し、けがをする恐れがあります。

⚠注意

① **本機を使用するときは、平らで安定した場所に置いてください。**

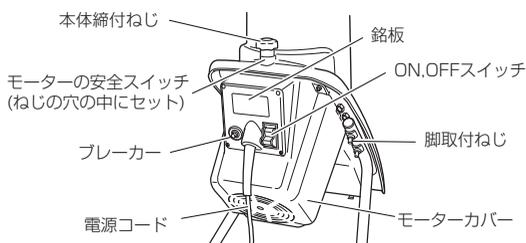
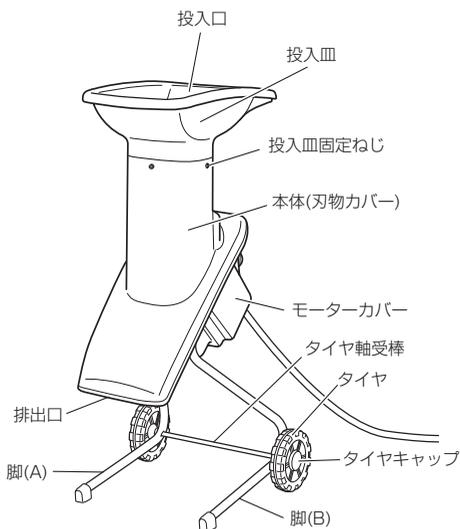
② **本機を移動するときは、本体（刃物カバー）締付けねじが締っていることを確認してください。**

• 締付けねじがゆるんだ状態で機体を倒すと、本体（刃物カバー）が開き、けがをする原因になります。

③ **投入皿には、金属、石、プラスチックなど樹木以外は投入しないでください。**

• 故障の原因となります。

④ **樹木の種類によっては、樹液の飛散により肌がかぶれることがありますのでご注意ください。**

各部のなまえ

梱包部品明細

品名	数量
投入皿	1
投入皿固定ねじ（M5） ワッシャ付	4
脚（A）	1
脚（B）	1
脚取付ねじ（M8）	4
脚取付用ワッシャ（M8）	4
脚取付用ナット（M8）	4
タイヤ軸受棒	1
タイヤ軸ブッシュ	1
タイヤ固定用ナット（M10）	2
タイヤ固定用ワッシャ（M10）	2
タイヤキャップ	2
タイヤ	2
押込棒	1
六角棒スパナ（6 mm） （刃物交換・脚止め用）	1
スパナ（16 mm × 13 mm）	1
保護メガネ	1
取扱説明書（保証書付）	1

組立方法

⚠警告

- 組立前には、本体のスイッチが切れていること、電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認してください。
- 投入皿は確実に取付けてください。また、取りはずして使用しないでください。

けがの原因になります。

注
- 組立前にP５の梱包部品明細に記載してある部品が全部揃っているか、破損等がないかご確認ください。
- 機体を横にして組立を開始してください。

1 脚(A)を取付ける

●本体締付ねじをゆるめ、本体(刃物カバー)を開けてください

●脚は、脚(A)と脚(B)があります。逆にすると組立できません。

●脚(A)の切り口部をモーター側に向け、脚(A)の穴を取付穴に合わせて、取付ねじ(M8)を刃物側からさし込みます。

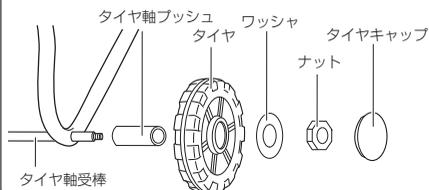
●取付用ワッシャを入れて、ナット(M8)をスパナで固定しながら、取付ねじを六角棒スパナで締付けて脚(A)を確実に固定します。

2 脚(B)を取付ける

●先にタイヤ軸受棒を脚(A)と脚(B)にさし込んでから、脚(A)とと同じ手順で脚(B)を取付けてください。

3 タイヤを取付ける

●タイヤ軸受棒にタイヤ軸ブッシュをさし込んでから、タイヤをさし込みます。

●固定用ワッシャを入れて、ナット(M10)をスパナで締付けてタイヤを確実に固定したら、タイヤキャップを押し込みます。

4 投入皿を取付ける

●本体(刃物カバー)を閉じて、本体締付ねじを確実に締付けてください。

●投入皿の向きを図のようにして、投入皿と本体側面の固定ねじ穴(４ヶ所)を合わせ、固定ねじ(M5)で確実に固定します。

はじめに

準備

ご使用前の準備

ご使用前に漏電しゃ断器を設置し、継ぎ（延長）コードを用意してください。また、作業場は整頓し、明るくしてお使いください。

⚠警告

- 電源プラグの先端のアースクリップ、アース線は、念のため異常のないことを確認してから使用してください。地中に接地極（アース板、アース棒）を埋めるなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので電気工事店にご相談ください。なお、アース線をガス管に取付けることは事故の原因になるので、絶対にしないでください。

●漏電しゃ断器を設置します

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器を設置してください。
また、この機体は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようにおすすめします。

●継ぎ（延長）コードを用意します

⚠警告

- 継ぎ（延長）コードは損傷のないものを用意してください。
- 必ずアース（接地）できる接地用の 1 心をもつ 3 心キャブタイヤケーブルを使用してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm^2）	最大の長さ（m）
2	20

○騒音防止規制について

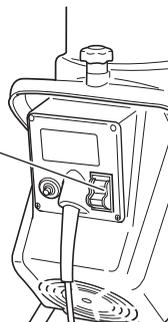
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

ご使用前の点検

⚠警告

• 電源プラグをコンセントにさし込む前に、次のことを確認してください。

1 スイッチが「OFF」になっていることを確認する

●スイッチを「ON」にしたまま、電源プラグをコンセントにさし込むと、コンセントにさし込んだ途端にモーターが起動し、思わぬけがの原因になります。

2 100Vの電源を使用する

●お求めのガーデンシュレッダは100V用です。200V電源に接続すると、製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3 コンセントを確かめます

●コンセントがぐらついたり、電源プラグが抜けやすかったり、アース（接地）端子が不完全だと修理が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

準備

粉砕する

軟らかい生木の小枝を粉砕します
（枯木、葉は粉砕できません）

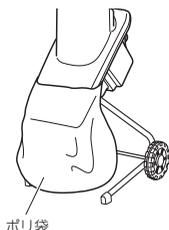
⚠警告

- 電源プラグをさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 本体内部に工具（スパナ、レンチ等）を置き忘れてないかご確認ください。
- 作業中は投入口、排出口の中に絶対に手を入れないでください。粉砕物が小さくなったときは、押込棒をご使用ください。
- 使用するときは、保護メガネ、手袋を着用し、枝をしっかり保持してから押込んでください。

1 締付ねじを確認する

●本体締付ねじが、確実に締まっているか確認してください。ゆるんでいると、安全スイッチが入らないため、モーターを起動できません。

2 ポリ袋を取付ける

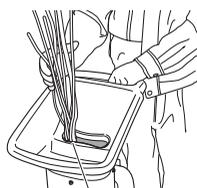
●排出口にポリ袋などを取付けておくと、粉砕物の回収が容易にできます。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

注 • 同じコンセントで同時に他の電気用品を使用されますと、ブレーカーが落ちる可能性があります。本機を使用するときは、単独でご使用ください。

4 スイッチを入れる

●スイッチを入れる（ONにする）と、モーターが起動して刃が回転します。
●モーターが起動しないときは、ブレーカーのボタンを一回押して下さい。

5 小枝を投入する

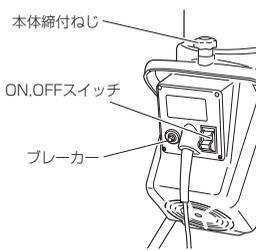
●最大径約30 mmまで粉砕できますが、樹木の種類によっては、これより細い枝径までしか粉砕できないこともあります。
●モーターの回転が安定したことを確認してから、枝を⬬穴（下図参照）の右側に投入してください。枝を左側に投入すると、徐々に右側に移動していきますが、枝がバタついたり、時間がかかるなど効率よい粉砕ができません。
●作業中枝が短くなったら、押込棒をご使用ください。

注
- モーターの回転が下がるような場合は押し込み過ぎです。粉砕物を少し引いて、正常な回転に戻ってから投入してください。
- 堅い木の小枝の粉砕は刃先の摩耗を早めますので、刃面の交換、刃とぎをこまめに行ってください。
- つる、草花、野菜や果物を投入すると、内部に付着して回転が停止することがありますので、投入しないでください。
- 葉の粉砕はできません。枝の投入前に枝葉のせん定を行ってください。
  一度にたくさんの枝葉を投入すると回転プレート上に残り、切断能力が落ちることがあります。
- 木端などを投入しないでください。また短くなった枝は速やかに押込棒で押込んでください。
  本体（刃物カバー内）で動き回り、衝撃音を発生する場合があります。
- 粉砕物が詰まった場合や、モーターが始動しない場合は下の「ブレーカーと再起動について」に従って作業を行ってください。

●安全スイッチの操作について

本体締付ねじ穴の先端に安全スイッチが付いています。
本体締付ねじを確実に締付けると安全スイッチが入り、モーターはON、OFFスイッチで起動しますが、本体締付ねじがゆるんでいると安全スイッチが入らないため、モーターを起動できません。

●ブレーカーと再起動について

⚠警告

- 粉砕物が詰まった場合は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  思わぬ事故のもとになります。
- 粉砕物を取除く場合は、手袋・保護めがねを着用してください。

作業中、回転プレートや刃に粉砕物が多量に付着したとき、粉砕能力を超えた太い枝（約31 mm以上）をさし込んだとき、能力を超えた粉砕物を押込んだときなどには、モーターの過電流保護のためブレーカーが作動してモーターを停止します。

<再起動の方法>

①スイッチを切り（OFFにする）、電源プラグをコンセントから抜きます。
②締付ねじをゆるめて本体(刃物カバー)を開け、投入口の枝、ブレード周辺、締付ねじ穴、回転プレート等に付着した粉砕物を取除きます。
③本体(刃物カバー)を閉じて、締付ねじを確実に締付けます。
④電源プラグをコンセントにさし込みます。
⑤スイッチを入れます（ONにする）。
⑥ブレーカーのボタンを一回押すと復帰し、モーターが起動します。

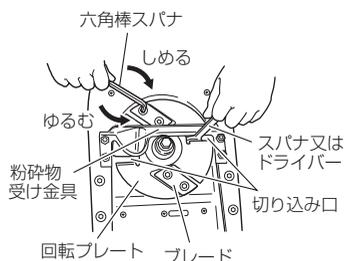
ブレードの交換

⚠警告

- ブレードを交換するときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  思わぬ事故のもとになります。
- ブレードを交換するときは必ず手袋を着用し、直接ブレードが触れないようにしてください。

1 ブレードを取りはずす

●付属のスパナ（またはドライバー等）を粉砕物受け金具に当てながら、回転プレート切り込み口にさし込んで、回転プレートの動きを止めます。（右図参照）

●六角棒スパナでブレード取付ねじ（2カ所）を左に回してゆるめ、ブレードを取りはずします。（ブレードは2個あります）

2 ブレードを取付ける（刃面交換、ブレード交換）

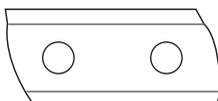
●ブレードは両面に刃が付いていますので、反対に向けるともう一度使用できます。

●取りはずしと逆の手順で、ブレードを確実に取付けてください。（スパナさし込み位置は粉砕物受け金具の上側）

注
- ブレードの交換は2個同時に行ってください。
- 切れ味の悪くなったブレードをそのままご使用になりますと、効率が悪くなると同時に、モーターに無理な力をかけることになります。
- 刃先が摩耗したときは、砥石または電動刃物研磨機で刃とぎをしてください。（P12の刃とぎの方法参照）

別売部品の紹介

日立電動工具販売店でお求めください。
（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

ブレード（替刃）（2枚入り）

点検・お手入れする

⚠警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 安全に効率よく作業をして頂くために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

●ブレード、刃の点検

- 本体内部やブレードに付着した粉砕物を取り除き、掃除してください。
- ブレード刃面に、防錆油（機械油）を塗布してください。
- 刃先が摩耗したときは、刃の面交換、刃とぎをしてください。

●刃とぎの方法

- 砥石または電動刃物研磨機で刃とぎをしてください。
- 刃はブレードの両面についていますので、片方の刃を厚いゴム、布などで覆ってから作業してください。安易な作業をすると思わぬけがの原因になります。
- 角度のついた面をとぐときは、直線になるようにといでください。丸くなった刃物は切れません。

- 裏面をとぐときは、砥石の面に平らにあてて軽くとぎ、刃の返りをとるだけにします。
- 最後は、仕上げ砥石で仕上げてください。

●取付ねじの点検

- 時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

注 保管場所について　次の場所には保管しないでください。

・ お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
・ 直射日光の当たる所。
・ 軒先など雨がかかったり、湿気のある所。

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症　　状	考えられる原因	処　　置
動かない。	・電源プラグがさし込まれていない。	・電源プラグをコンセントにさし込んでください。
	・本体（刃物カバー）の締付ねじがゆるんでいる。	・本体（刃物カバー）の締付ねじを確実に締付けてください。
	・ブレーカーが作動している。	・本体（刃物カバー）を開け、P10のブレーカーと再起動に従って作動を行ってください。
粉砕が上手にできない。	・ブレードの刃が古くなっている。	・新しいブレードに交換（P11参照）または刃とぎ（P12参照）を行ってください。
ひんぱんにブレーカーが作動する。	・能力以上の負荷がかかっている。	・φ30mm以下の軟らかい生木の小枝をゆっくり投入してください。

仕　　様

形　　名	FRS30
使用電源	単相交流50／60Hz　共用　電圧100V
最大粉砕能力	生木の小枝：最大径30mm
無負荷回転数	2900 min^{-1} ｛回／分｝（50Hz） 3500 min^{-1} ｛回／分｝（60Hz）
消費電力	1500W
モーター	コンデンサ形単相誘導モーター
機体寸法	幅 470 × 奥行 510 × 高さ 1005mm
質量	22kg
コード	アースクリップ付き3心キャブタイヤケーブル5m

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

ガーデンシュレッダについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようにしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…（相談と修理の窓口）へ

お住まいの地域	窓口の所在地	支店（部）名	電話番号
全　国	港　区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	仙 台 市	東　北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、新潟、長野、静岡県富士川以東	台 東 区	東　京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、静岡県富士川以西	名古屋市	中　部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北　陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	大 阪 市	関　西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中　国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四　国	(087) 841 - 6191
福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九　州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00～午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立ガーデンシュレッダ保証書

形　　名	FRS 30	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)

※お買い上げ日		平成　　年　　月　　日	製造番号	
※お客様	お名前			
	ご住所	〒 電話(　　)		
※販売店	住　所 店　名	〒 電話(　　)		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1．保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- (ト) 一般使用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (チ) 付属品、別売部品や消耗品類の場合。

2．本製品の故障などに伴なう二次的損害に対する保証はいたしません。

3．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

4．ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保障書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機(株)のご相談窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is only Japan)

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2-15-1(品川インターシティA棟)
電話(03) 5783-0626(代)

701
部品コード　C99159901